

第5回議会報告会

報 告 書



令和元年7月
海老名市議会

【目 次】

【海老名市議会報告会開催概要】 P 2

【第 1 部】 予算の概要について
各常任委員会所管事務調査について
議会基本条例について P 3

【第 2 部】 意見交換（フリーテーマ） P 3

【アンケート結果】 P 1 2

【委員会での検証結果】 P 1 9

【総括】 P 2 0

【出席議員一覧】 P 2 1

【海老名市議会報告会開催概要】

○ 目 的

開かれた議会を目指し、市民の負託に的確に応えられるよう議会活動の状況等について説明責任を果たすとともに、市民の意見や要望等を広聴するなど、市民との対話の機会を図るため、議会が主体となって議会報告会を開催する。

○ 実施主体及び出席議員

実施主体：海老名市議会（海老名市議会 広報委員会）

出席議員：別紙名簿のとおり

○ 実施日時、実施場所、参加人数

- ・ 令和元年 7 月 27 日（土） 午後 1 時から
社家コミュニティセンター 参加人数：13 人
- ・ 令和元年 7 月 27 日（土） 午後 6 時から
市民活動センター・ビナレッジ 参加人数：15 人
- ・ 令和元年 7 月 28 日（日） 午後 1 時から
柏ヶ谷コミュニティセンター 参加人数：8 人

○ 実施内容

- 1 【第 1 部】 予算の概要について
各常任委員会所管事務調査について
議会基本条例について
- 2 【第 2 部】 意見交換（フリーテーマ）

【第１部】予算の概要について
各常任委員会所管事務調査について
議会基本条例について

はじめに、予算の概要について、海老名市の一般会計、特別会計、企業会計予算の当初予算の規模と一般会計予算の歳入、歳出、市債及び基金残高の状況を説明しました。

次に、総務、文教社会、経済建設の３常任委員長から当初予算から主な事業の概要を説明し、予算決定までの流れと議会がどのように審査を行うのか、また、行政とどのように関わっているかについて説明しました。

所管事務調査については、３常任委員会委員長から、所管事務調査のテーマや視察の状況、とこれまで委員会で取り組んできたことや、これからの予定を説明しました。

最後に、議会改革特別委員会の委員長より、議会基本条例について説明しました。説明の概要としては、これまでの議会報告会で報告をしてきた内容に加えて、議会基本条例の進捗状況と新たな取り組みについて説明しました。

【第２部】意見交換（フリーテーマ）

過去の議会報告会では、テーマを設定し、参加者から意見を伺う形式で行ってきましたが、今回はより多様な項目、ジャンルの意見を伺うことを目的として「フリーテーマ」による意見交換を実施しました。

○ 参加者からの意見など

＜社家コミュニティセンター＞

- ・議会改革の早稲田大学マニフェストの評価が良くなかったことについて、開かれた議会になっていないということが一番のポイントではないか。

（回答）市川洋一委員長

総合的な観点から全国的に開かれていないというのが一つの要素となっている。

（回答）久保田英賢議員

議会改革のランキングが低かった要因としては、開かれた議会についての項目だけではない。情報発信や議会運営に関してなど項目が細かく分かれており、多数の項目で評価点がつく。その中で、海老名市議会が一番足りていないものは、議会基本条例の制定がされていない点です。他の議会は議会基本条例の制定から始めているのがほとんどであり、基本条例を制定しているか、していないかは評価の大きなポイントとなっている。ただし、海老名市議会は評価点をとるために基本条例の制定を始めたのではなく、議会として変えられるところから改革を進めていき海老名らしい議会運営になったところで、基本条例の制定を始めた。基本条例は制定されたらランキングが上がると思定している。

- ・高座クリーンセンターの建設事業費は百数十億円であり、国や県から補助金を受けていると聞いている。総事業費と国や県からどのくらい補助金を受けたのか。市債などは何年で償還できるのか。海老名市はどのくらい負担しているのか。把握している範囲で教

えて下さい。

(回答) 市川洋一委員長

資料がないため正確に回答することはできない。

- ・家庭系ごみの一部有料化及び戸別収集導入によるごみ減量化の推進として1億5,500万円の予算となっているが、この予算は年度の予算として考えていいのか。また、その予算内訳と予算の執行状況について教えてください。

(回答) 中込淳之介議員

年度の予算である。内訳は指定収集袋の販売手数料及び作成事業費、指定収集袋の管理事務、収集事業の一部委託の積み上げである。

- ・家庭系ごみの一部有料化について、市議会では先進的な取り組みをした市へ視察をされている。以前、創志会が開いた講演会の講師が成功したと話した。市へ視察にいかれたのか。

(回答) 中込淳之介議員

会派においては成功した事例の市へ視察を行った。

- ・日置市と海老名市では市の状況が違うのではないかと。なぜ遠方へ視察に行ったのか。

(回答) 中込淳之介議員

ごみの減量化が進んでいる先進事例を視察するため、日置市を視察した。

- ・視察先の選定は任意なのか。

(回答) 市川洋一委員長

取り決めがないので、委員会ごとでの任意の選定となる。

- ・家庭系ごみの一部有料化及び戸別収集導入による予算が今年度は1億5,500万円となっているが、次年度以降にも費用として発生する。この事業は行って効果があるのかを評価し、今後を見通す必要があると考えるので、議会からも状況を確認することを要望する。

- ・燃やせるごみの中に資源ごみが3割含まれているので、それを除けば減量できるというのが有料化、戸別収集のスタートである。減量の量だけに着目せず、集めたごみの中身を確認する必要がある、その結果がどうだったのかが重要と考える。

- ・第1回定例会の会議録を読んで、未だに有料化、戸別収集を辞めるべきでという意見がでている。タウンミーティングなどの後にアンケートを行い、意見収集などを行うことを提案する。

- ・戸別収集とは玄関先に置かれたごみを収集することなのか。また、収集する時間帯についても懸念している。大和市でも戸別収集を行っているが、カラスやにおいの問題などがあり、必ずしもうまくいっていないようである。併せて、美観的な問題においても懸念している。先日、高座クリーンセンターへも問い合わせたが、円滑に進めるように努めるとの回答であった。市の環境課へも問い合わせ、担当者が収集車に乗り収集を行うと話していた。しかし、通学や通勤の時間に収集を行うと狭い道路が渋滞する問題が発生する。また、車両のストップアンドゴーによる排気ガスの環境問題についても懸念するが議員の認識を伺う。

(回答) 市川洋一委員長

議員全体としても懸念している点であるため、行政をチェックしていきたい。

- ・有料化、戸別収集の実施にあたり、人員や車両を増やさなければならず環境や燃費の問題がでてくる。このような懸念事項に対してアフターケアをしてもらい、有料化に伴って海老名がだめにならないことを要望する。
- ・水道事業の民営化は市長が反対していると聞いている。議会でも注視することを要望する。
- ・認知症の方が事故を起こし高額な損害賠償を請求された時に備えて、市町村が保険を掛けている事業を他市が行っている。このような取り組みを行うことを要望する。

(回答) 市川洋一委員長

市は下水道事業のみを行っており、水道事業は県が所管しているため、直接関与していないが、全国的に危惧している問題だと認識している。提案された保険の件については進めていると聞いている。

- ・6月に行われた杉久保自治会のごみ有料化の説明会において、有料化を行う理由はごみを減らさないと焼却施設の焼却量が追いつかないということであった。その中で、燃えるごみだけでなく、茶碗のかけらなどの燃えないごみも有料化することだが、この点は関係ないのではないのか。議会では異例となる12項目の付帯決議を行っている。議会で決めたことなのだから、議会で修正することも可能であるので、修正することへの検討を要望する。また、戸別収集についてもカラスがごみ袋を開けるなど、今後苦慮されるが、費用だけ掛かって効果がない場合、議会で撤回するという考えがあるか教えてください。

(回答) 市川洋一委員長

可能性がないとは言いきれないと考えるが、まず、行政がやってみて、効果を検証したい。燃えないごみについては、資源にならないごみであることから、このような対応を行っている。

- ・海老名は周辺の市と良好な関係を築いているのか。近隣市と良好な関係を築かないと良い市にはならない。ごみの問題については、座間、綾瀬とは関係が良くないと聞いている。

る。このようなことは、ごみに限らず全ての面においても危惧しており、県央の中心である海老名が頑張ってもらいたいと考えている。海老名駅の小田急線と相鉄線の改札前を見ると人通りが多くなっているが本厚木駅と比べると若い人が少ない。これは本厚木には学校があるからである。学校の誘致は困難であり、過去に海老名市で行ったが途中で断念したと聞いている。若い人に来てもらう取り組みを考えているのか伺います。

(回答) 倉橋正美議長

近隣市とは良好な関係を築いている。ごみの件は、ごみの減量化を進めることについては座間、綾瀬と共通している。ただし、目的に到達するまでの手法が異なるため、それが表面化されている。消防については、座間、綾瀬と共同運営を築いており、横のつながりが強い時代になっている。景気の良い時は自治体が自分達で発展を続け、たくさんものを築き上げた。今は築き上げたものが重荷となっているため、共同とするまちづくりが求められている。昔、平成の大合併が起きたが、県内のほとんどの市が合併をしなかった。それは各々の自治体がしっかりしていたという証拠である。議会としても近隣市との横のつながりをしっかり築き上げたい。



(社家コミセンの様子)

(回答) 市川洋一委員長

学校誘致については貴重な意見として受け止め、今後検討していきたい。

<ビナレッジ>

- ・日本の全人口の1%が統合失調症の患者といわれており、海老名市の人口は約13万人なので1300人が統合失調症の患者、精神障がい者と考えます。しかしながら、総合福祉会館に行っても、市内の患者の方々が解放されているとは思えません。このような方々は地域社会で差別と偏見を受け辛い気持ちで生活していると思います。精神障がい者について、市議会はどのように認識しているのか。精神障がいについて理解すれば、決しておかしい病気ではありません。精神障がいについての正しい知識を市民の方々に伝えていただき、精神障がい者が解放される明るい都市を目指してほしい。また、患者の中には家族に見放され悩んでいる方がいることを認識していただきたい。

(回答) 市川洋一委員長

身体障がいについては、その人を見ることで認識することはできるが、精神障がいの方はその人を見ただけではすぐ理解することは難しい。貴重な意見として参考にさせていただきたい。

- ・神奈川新聞に内野市長が5選を目指して立候補するという記事が載りました。市長は多選には弊害があるとわかっていながら立候補している。この状況で現市議会議員の中で市長に立候補する方はいるのか。また、前回、前々回の立候補者や市の職員で立候補しないのか。独裁社会といわれたいためにも対抗馬を出せないのか伺います。

(回答) 市川洋一委員長

市長の多選については、民主主義の観点などがありますが、今回は議会報告でありますので回答は控えます。

- ・議会改革の取り組みについて、市長はどのような意見を出しているのか。

(回答) 久保田英賢議員

議会改革は議員全員で取り組んでおり、市長の意見というよりも、条例を作る過程で市に関連する部分が出てきます。その時は行政と合意を形成しながら進めている。

- ・ごみの収集について、9月30日から戸別収集になるが、その中で私の地域は集積所を80世帯の方で利用し、清掃などの管理をしてきた。市は戸別収集にしないと排出者責任が明確にならないということである。昨年の11月議会に署名が提出され議会審議されたとのことだが、どのような審議があり、どのように捉えているのか。

(回答) 市川洋一委員長

開発行為を行うにあたり、ごみ収集所が設置されているが、集積所は引き続き使用する。

(回答) 中込淳之介議員

署名が提出されたことについては、議会として認識している。署名をもみ消したとの意見を耳にするがそうではなく、署名も踏まえて審議を行った。戸別収集については、集積所を管理している地域が管理しているが、管理が難しいという声も聞く。

- ・ホームページを議員個人が開設している人数について

(回答) 市川洋一委員長

議員個人が開設しているホームページについては、議員個人に任せているので把握していない。

- ・市役所の地下の売店でのたばこ販売をやめてほしい。また、庁舎内のどこでたばこを吸えるのか。

(回答) 倉橋正美議長

売店でのたばこの販売について、たばこを買う方もいるので販売をやめるように言うのは困難である。また、市役所での喫煙箇所は庁舎の7階に設けている。

- ・会議中、議場内で寝ているように見える議員がいるがその点について伺う。

(回答) 倉橋正美議長

議員は集中して会議の内容を聞いている。

- ・市外への資金の流出を減らし、市内で経済が循環するような政策、取り組みや地産地消を進めることを要望する。

(回答) 市川洋一委員長

意見として伺う。

- ・統合失調症など患者の方は、体調が悪くなると幻聴などが起きるため、その時に家族は相談窓口にお問い合わせるが、その中で海老名警察署は丁寧に対応してくれる。しかし、病院の数が少ないので相談窓口を増やすことを要望する。

(回答) 市川洋一委員長

意見として研究させていただく。

- ・精神障がい福祉又は医療の範疇なのかが問題である。今後も患者の意見を聞いてほしい。

- ・海老名はいいイメージが広がっており、マンションが建設され人口が増えている。その中で、転入者への保育や教育の予算が明記されていない点を懸念しているので、進めてほしい。また、消防職員が少なく、介護施設に入れられない高齢者が多いので、現場の声を聴いてほしい。

(回答) 久保田英賢議員

教育については数年前から行政が対応を進めている。具体的には今泉小学校の体制などであり議会としても認識している。介護施設の実態については、行政としてまだまだ変えていく点があると考えている。

(回答) 志野誠也議員

昨年度、文教社会常任委員会の所管事務調査で介護施設へ視察を行い、現場を見させていただいた。今後も所管事務調査の中で現地へ視察に行くことが必要性和考える。

- ・家庭系ごみの有料化、戸別収集の予算について、全世帯の戸別収集が今後うまくいくのか。例えば半分は戸別収集、半分は集積所収集など自治会や地域と協力して進めることを提案する。

(回答) 市川洋一委員長

社家コミセンでもごみの有料化、戸別収集について意見があった。意見として伺う。



(ビナレッジの様子)

<柏ヶ谷コミュニティセンター>

- ・議会報告会への参加者が少ない点について、他の会場も少なかったのか。また、今回、開催時期が地域行事と重なっている。このような日程の決め方について伺います。

(回答) 市川洋一委員長

開催日については、今年は、参議院選挙の関係もありこの日程としました。参加人数は少ない点も課題と認識している。年明けなどに開催するのも1つの案と考える。

- ・議会報告会の周知方法に課題があると思う。繰り返しPRする必要があると考える

がその点について伺う。

(回答) 市川洋一委員長

今年はＨＰ、タウン誌、自治会回覧での周知を行った。周知方法については、今後も研究していく必要があると考える。

- ・資料が多くて参考になるが、事前に資料に目を通したい。議会報告会開催前に資料の公開又は周知することを提案する。

(回答) 市川洋一委員長

提案として伺う。

- ・過去に食の創造館から給食の異物混入が発生したが、発生後の結果が、議会に報告されているのか。

(回答) 倉橋正美議長

全てではないが、発生した事象についての結果は、紙資料などで報告されることがほとんどである。

- ・塵芥処理収集車の事故件数について、運転士が心に不安を抱えていると事故率が上がるので解決するような策の検討を担当課に要望している。議会にその回答が来ているか。

(回答) 倉橋正美議長

公用車は種類、台数が多い。安全運転管理者のもとに指導をしていると考えるが、体調など様々な理由で事故が発生する。議会でもこの問題は取り上げたこともある。発生した場合、安全運転の講習を実施しているがなかなか事故がゼロにはならない。議会としても行政に伝えていきたい。

- ・決議する際、会派で統一して賛否を出すのか。それとも会派でも個人的に賛否を出すのか。各会派に伺います。

(回答) 森下賢人議員（創志会）

基本的に採決は全員統一の見解で臨んでいる。意見が割れたら柔軟な対応が必要と考える。近年は賛否が統一している。

(回答) 戸澤幸雄議員（公明党）

意見が割らない方針でやっているが、別の意見がでたら議論をして、溝を埋める努力をしている。違う意見は出てくるが会派としては統一している状態である。

(回答) 西田ひろみ議員（いちごの会）

いちごの会は意見が分かれることがある。基本的には議員としての意見を尊重している。

(回答) 佐々木弘議員（共産党）

政党の公認でもあるので統一した意見としている。

- ・議決の際の懸念として、議員 10 人が賛成したら半数となり最終的には議長が議決する。現状、創志会の賛成で議案が可決する形となる。会派でなく個人で賛否を出すほうが市

民のためになるのではないか。

(回答) 森下賢人議員

過去には個人にとって重要な案件がでて、会派内で統一が図れなかったこともあった。会派によって縛り付けをしない方がよいと考えている。

(回答) 倉橋正美議長

議員の賛否としては創志会の議員の数が過半数を占めていることから、慎重になるところもあります。議長としての理想は議員全員が議案に賛成することを望むが、民主主義の観点から賛否が分かれてしまこともある。そのため、会派ごとに議論をして進めていると思っている。

・行政視察について海老名市に視察に来た自治体はあるのか。また視察に来る際のテーマについて教えてください。

(回答) 倉橋正美議長

海老名市に視察に来る場合、正副議長があいさつを行います。視察に来られる数は年間約40件程度であり、以前よりも増えている。視察のテーマとしては、図書館が注目を浴びている。その他の内容としては、総合窓口、学校プールの廃止である。ビナウォーク建設中の時はまちづくりについても視察が多かった。議会に対しても、議会改革についての視察が増えている。

・市の借金は減ってきていると聞すが、借金を背負って行政運営を続けなければいけないのか。

(回答) 倉橋正美議長

市債とはまちをつくる上で自身の予算だけでは足りない事業を起こすときに用います。市債ゼロは市民にとってベストだが、他の自治体で市債ゼロはないと思われる。将来に向けての取り組みであるのでご理解いただきたい。

・海老名、座間、綾瀬が同じ焼却炉を使っている中で、市が有料化を進めている。今後、座間、綾瀬が有料化を進めるのか。

(回答) 市川洋一委員長

座間、綾瀬が有料を進めることについての意見は把握していない。

・今後の資源ごみなどの廃棄方法について

(回答) 市川洋一委員長

資源ごみについては集積所収集。剪定枝は無料である。

・住んでいるマンションの住民の高齢化が進んでいる。このことについては民生委員と対策をしている。市議会だよりは全戸配布であり、広報の内容には質疑応答など様々な項目が含まれているが、今後興味をもってもらえるような取り組みを進めてほしい。

(回答) 市川洋一委員長

議会だよりは議会で取り上げた内容をまとめている。議員としても広報の内容については、研究していく。

- ・市長の多選に関する条例は上程しないのか。

(回答) 倉橋正美議長

多選に関する条例の近隣市の状況は行政側が提案するケースが多い。

- ・議会を傍聴した時、随意契約が多く、入札を増やすべきではと議員が質問していた。議員としての契約の考え方について意見を伺う。

(回答) 倉橋正美議長

契約については、担当課と契約検査課が関わるが、入札なのか、随意契約なのかは、設計の金額、内容によって進める。議会としては提案された時点のものを審査する立場である。入札結果については、議会に報告されている。

【アンケート結果】

○7/27 社家コミュニティセンター

来場者13名 アンケート回収率：53%（7枚）

○7/27 えびな市民活動センタービナレッジ

来場者15名 アンケート回収率：86%（13枚）

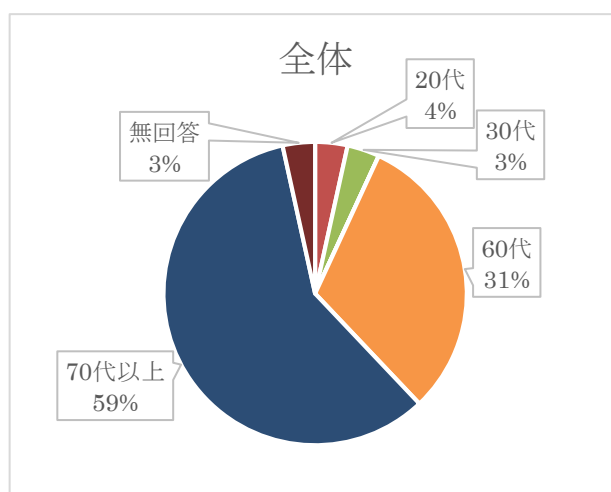
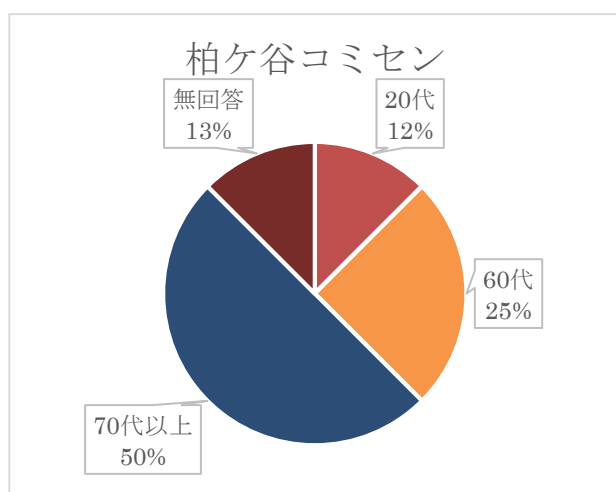
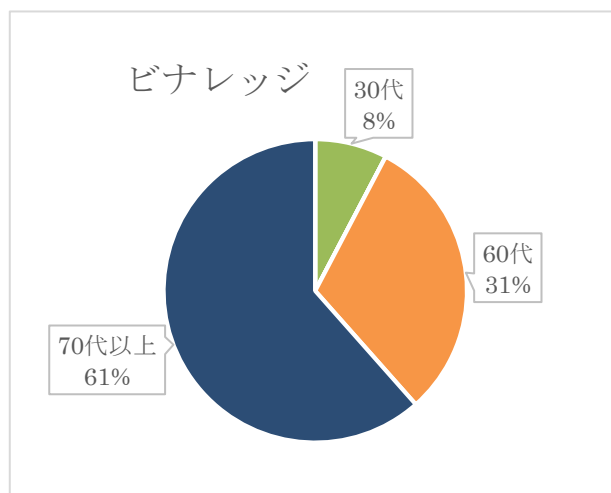
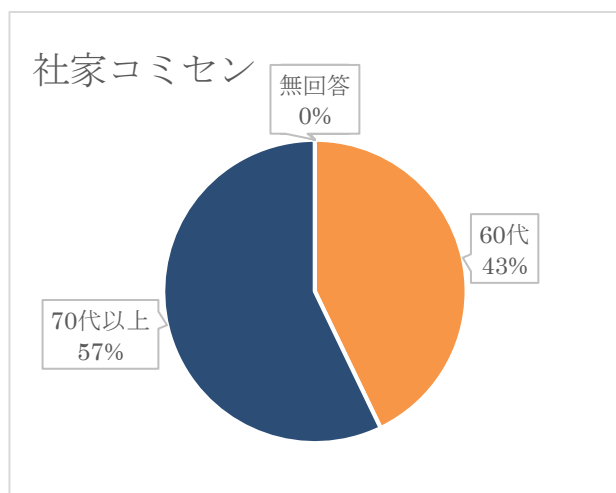
○7/28 柏ヶ谷コミュニティセンター

来場者8名 アンケート回収率：100%（8枚）

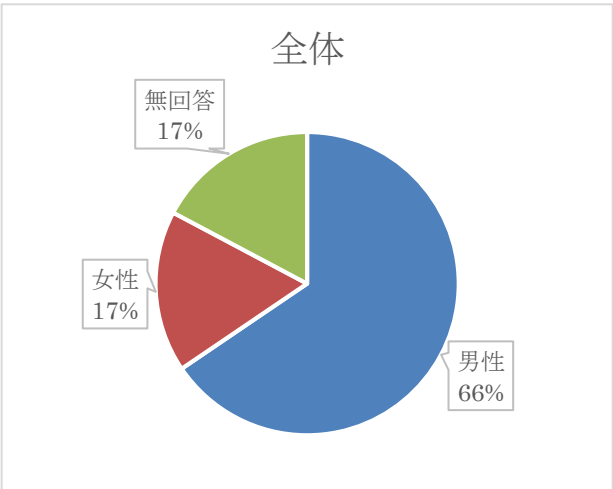
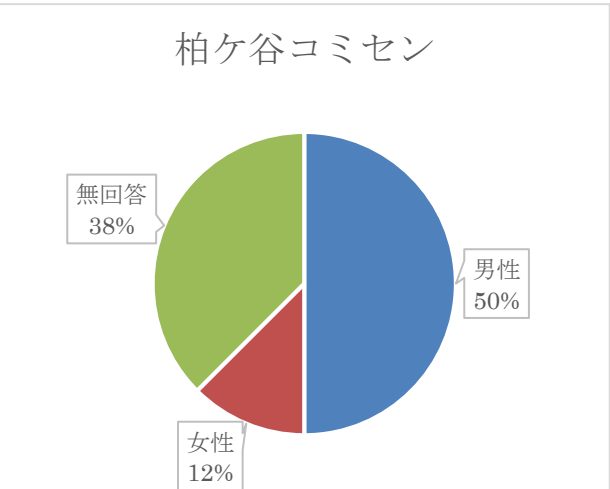
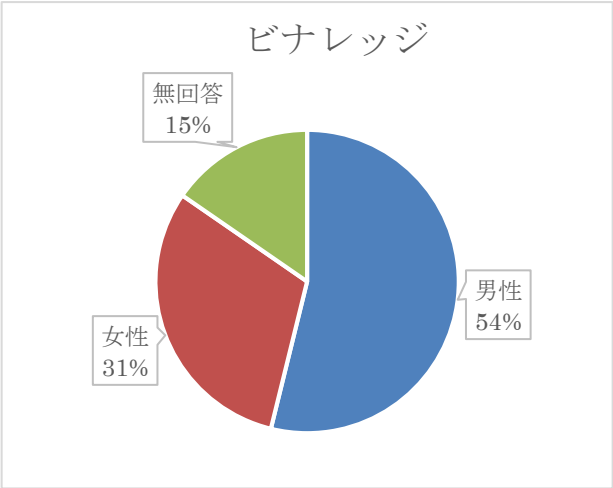
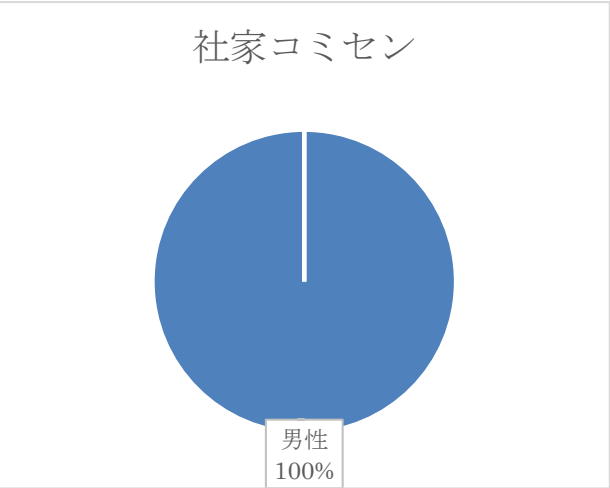
3会場合計 29枚（回収率：80%）

※報告会終了後、提出1枚含む（来場会場不明）

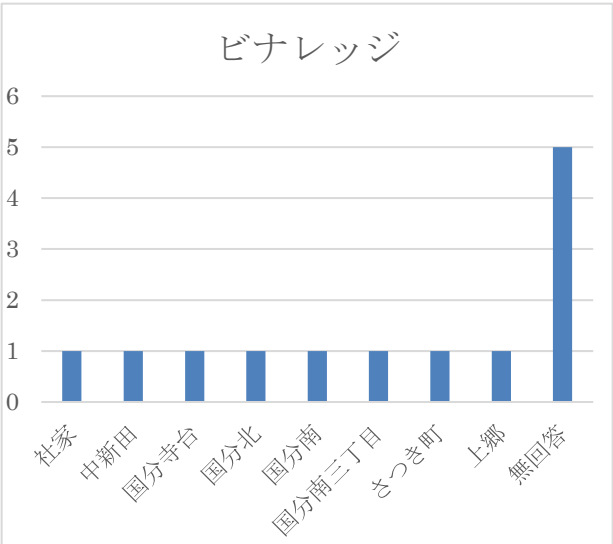
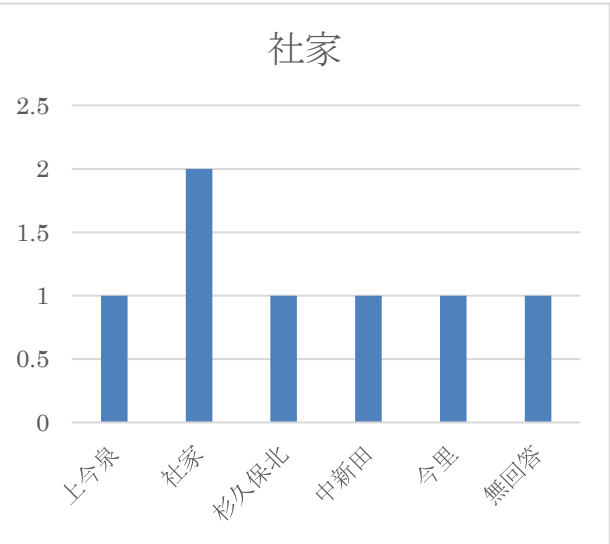
○年代（10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上）

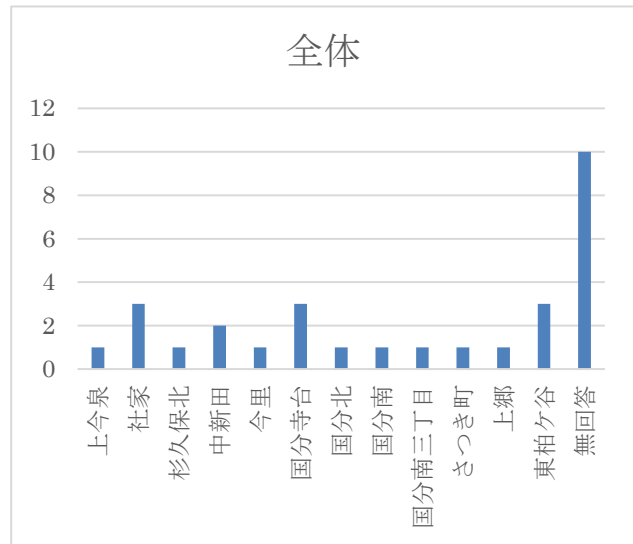
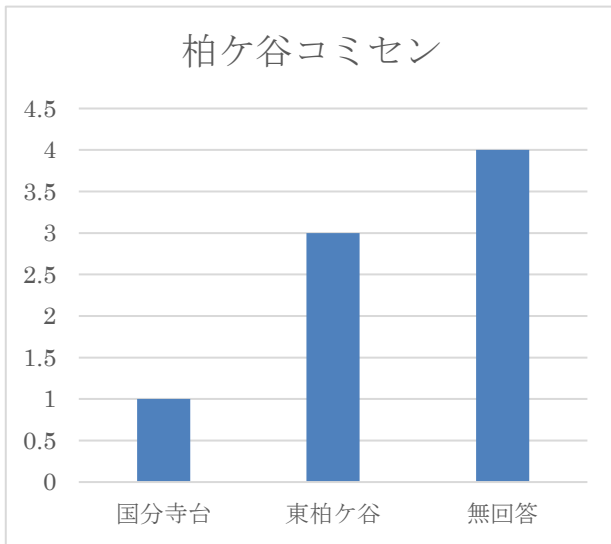


○性別（男性・女性）



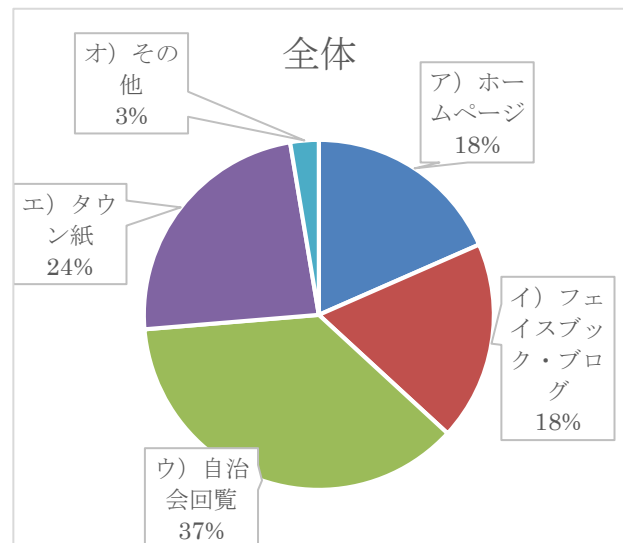
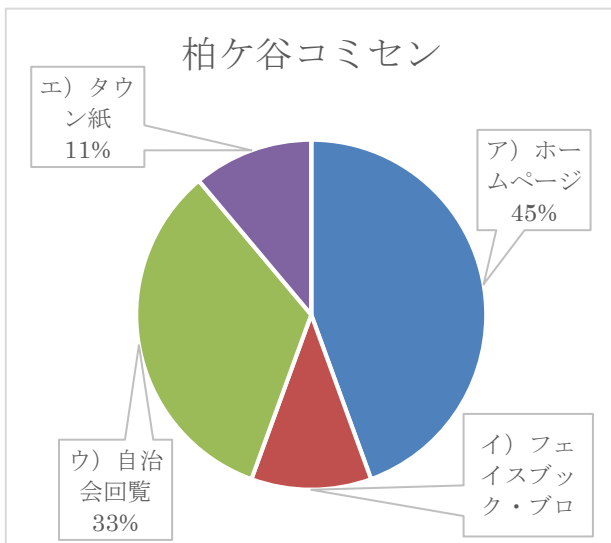
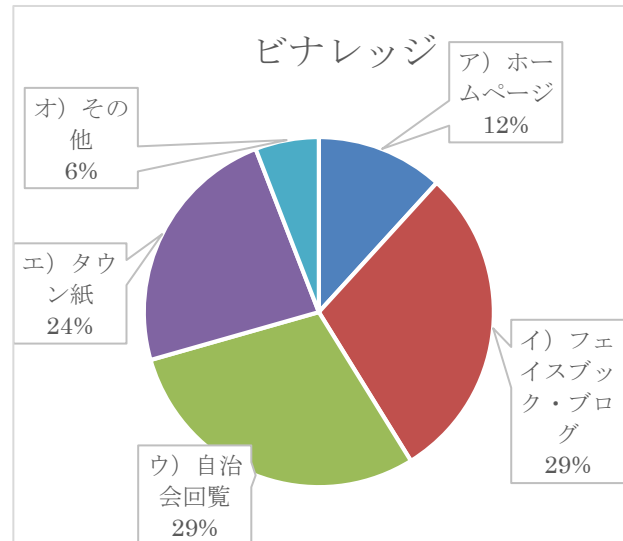
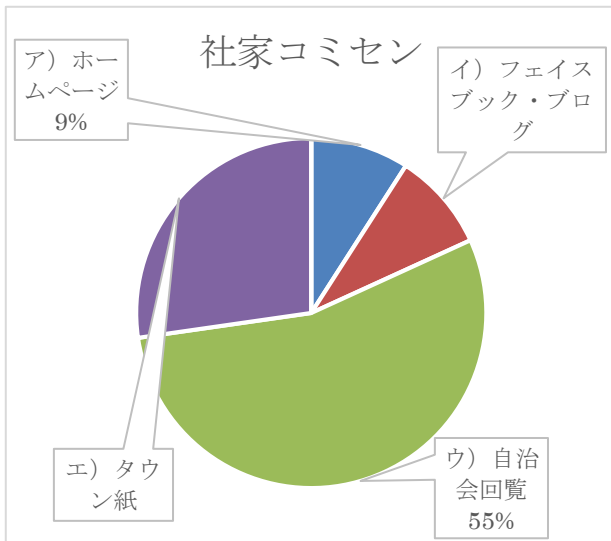
○お住まいの地域



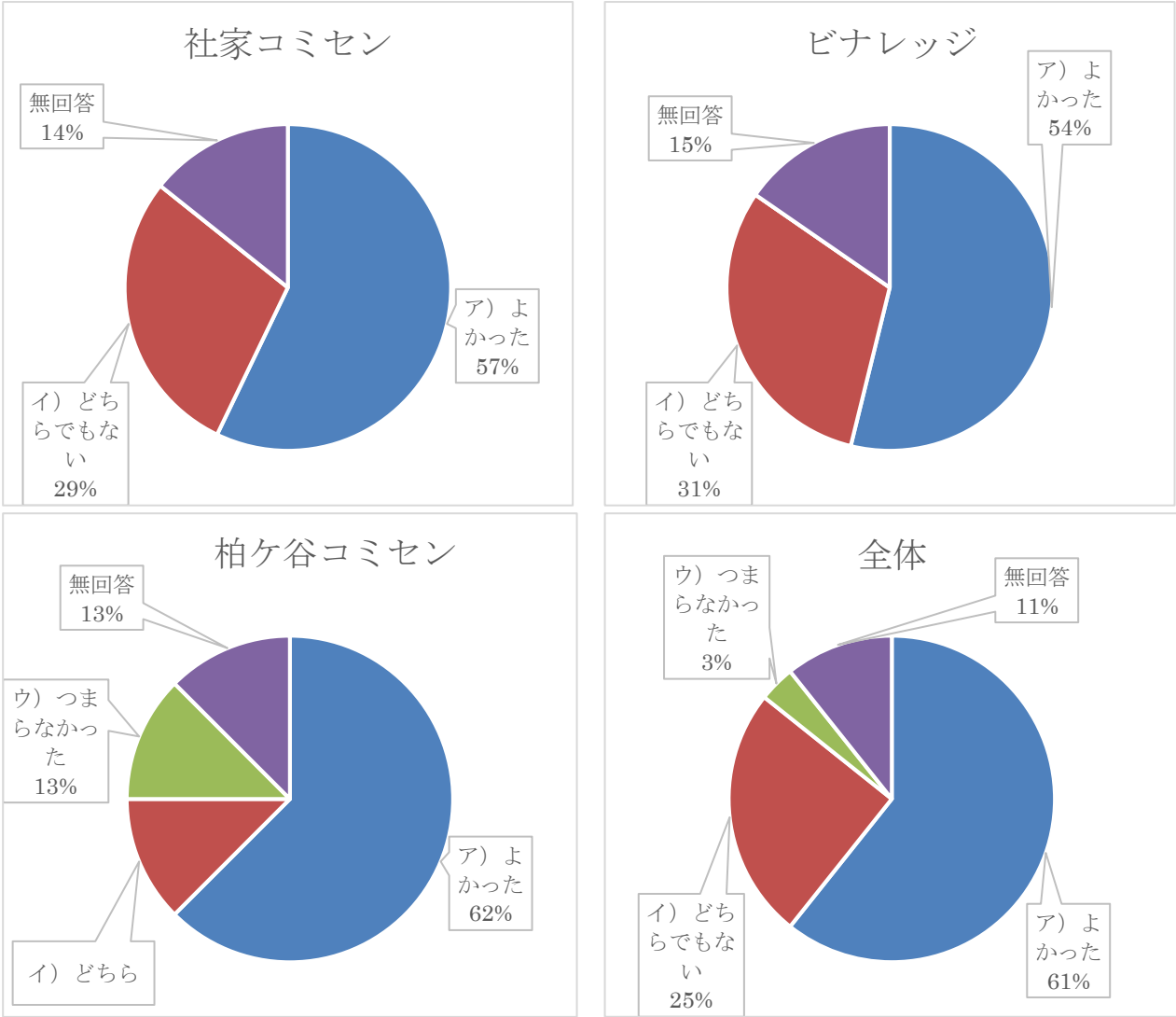


○開催を知った媒体

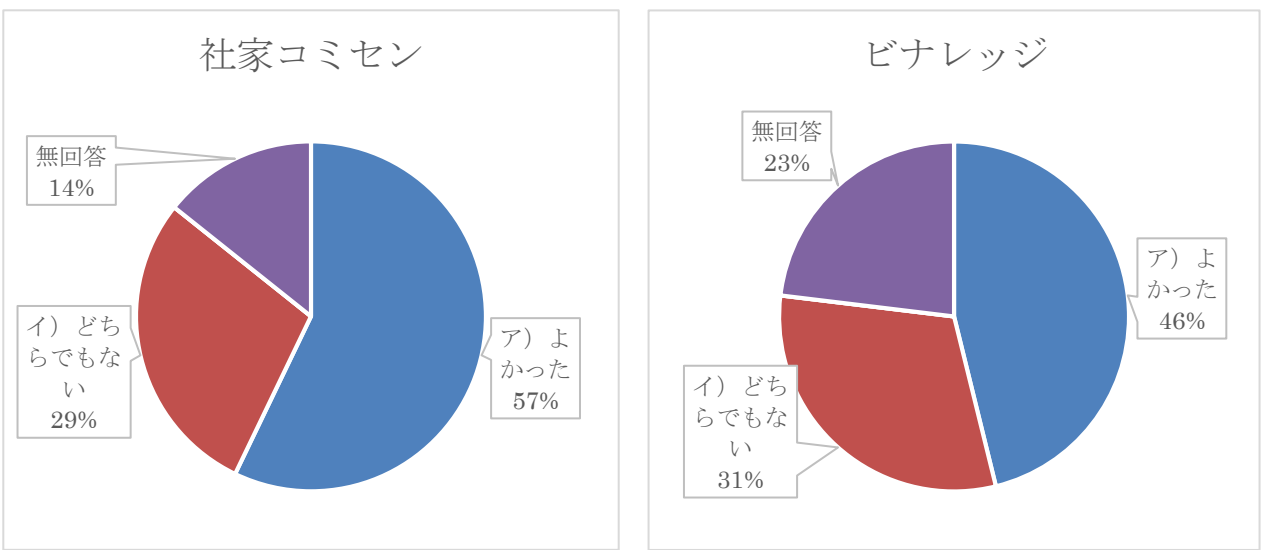
(ホームページ、フェイスブック・ブログ、自治会回覧、タウン誌、その他)

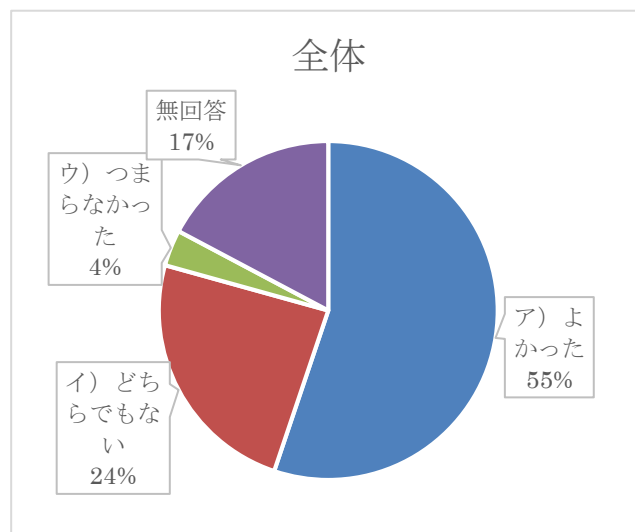
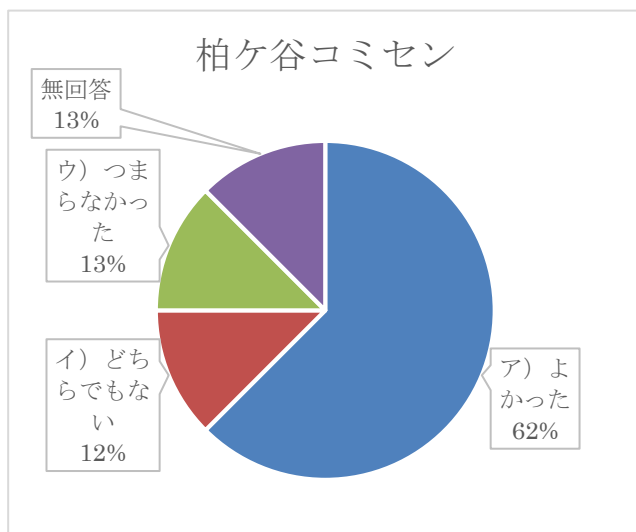


○第 1 部の内容について

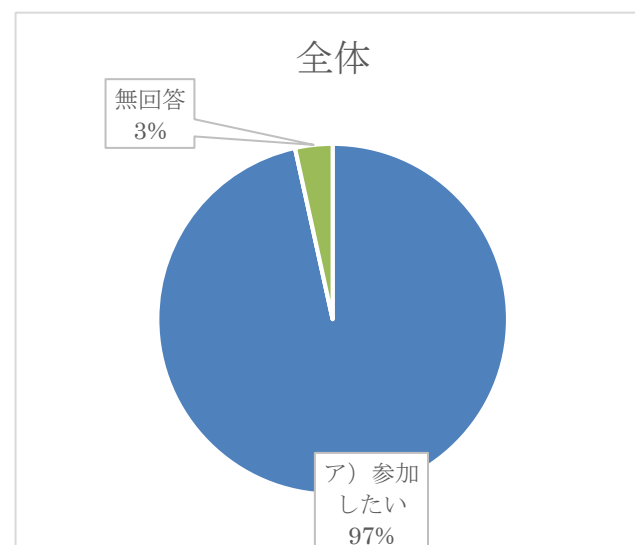
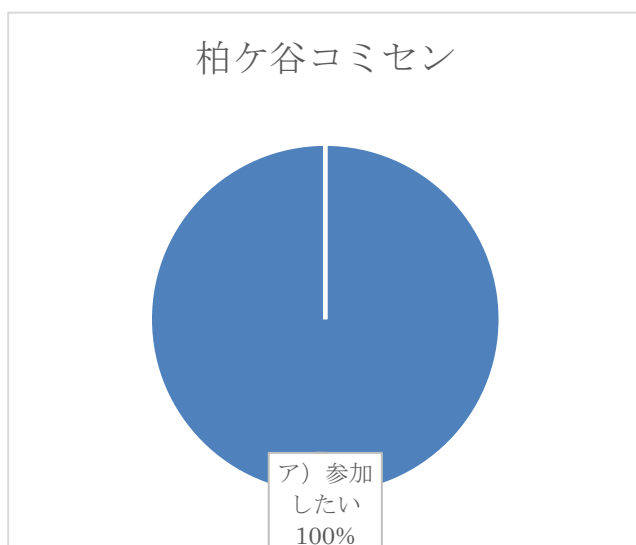
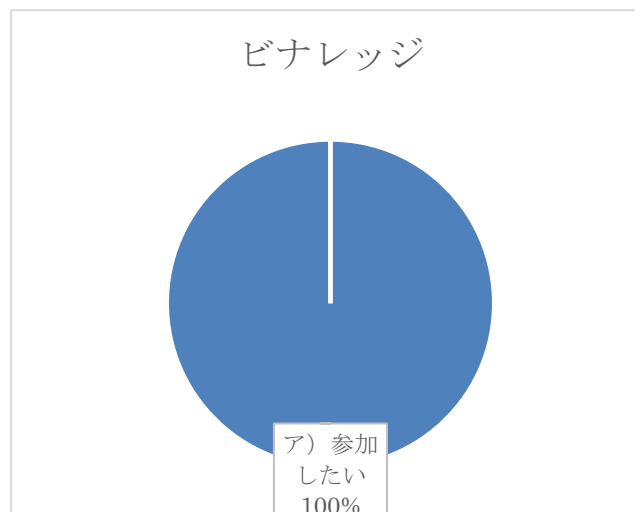
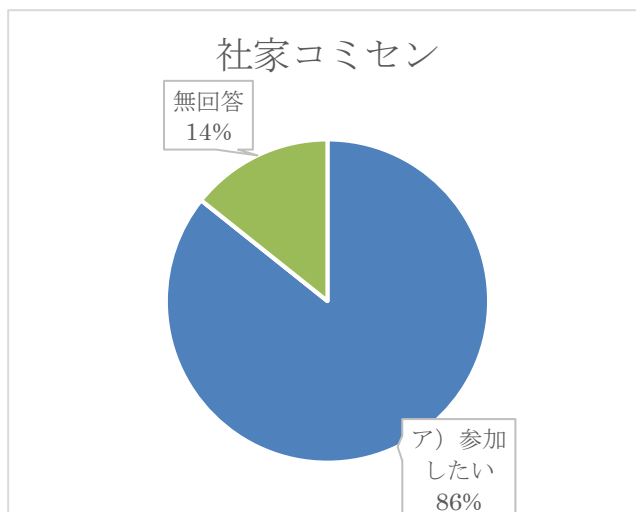


○第 2 部の内容について

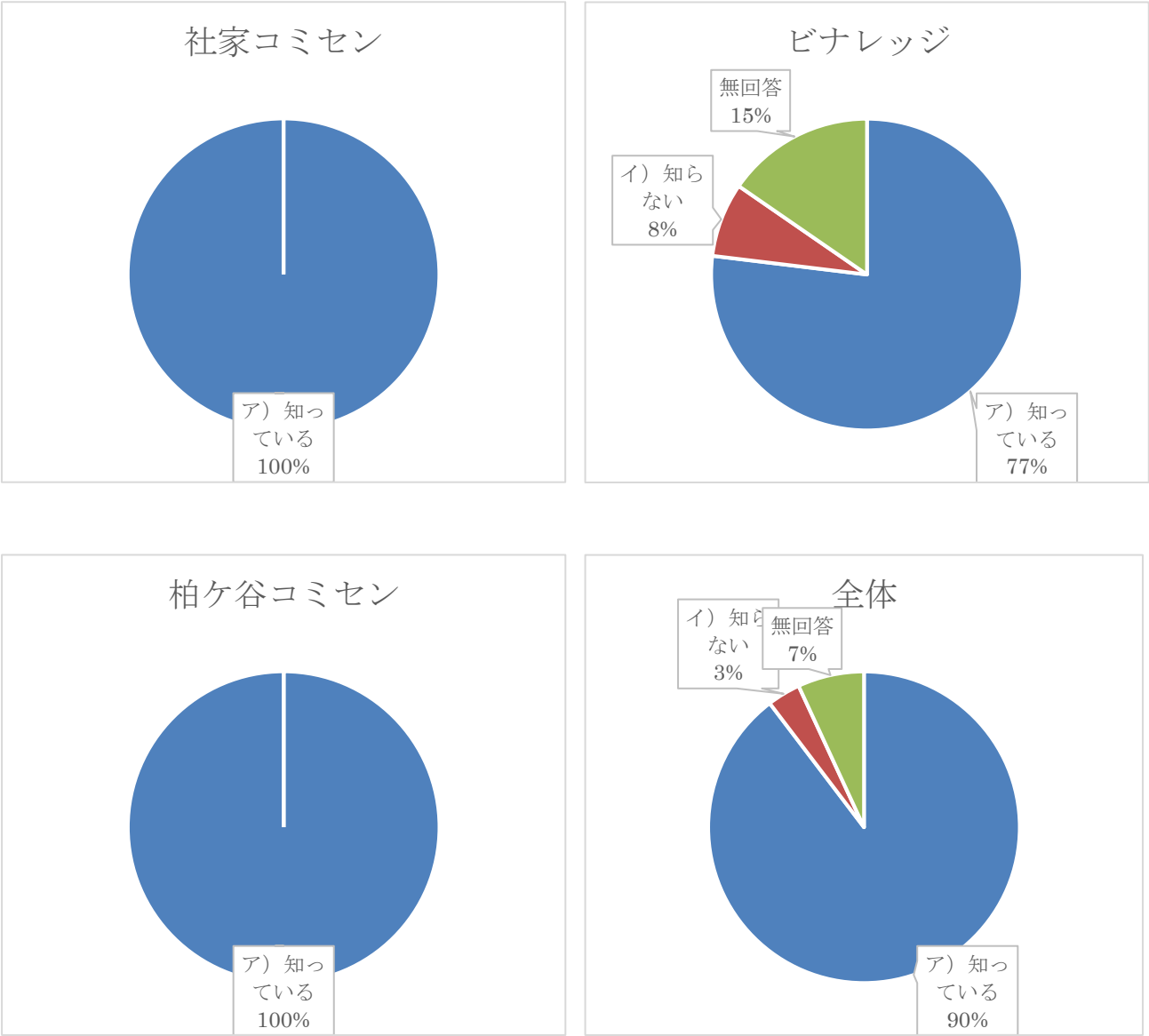




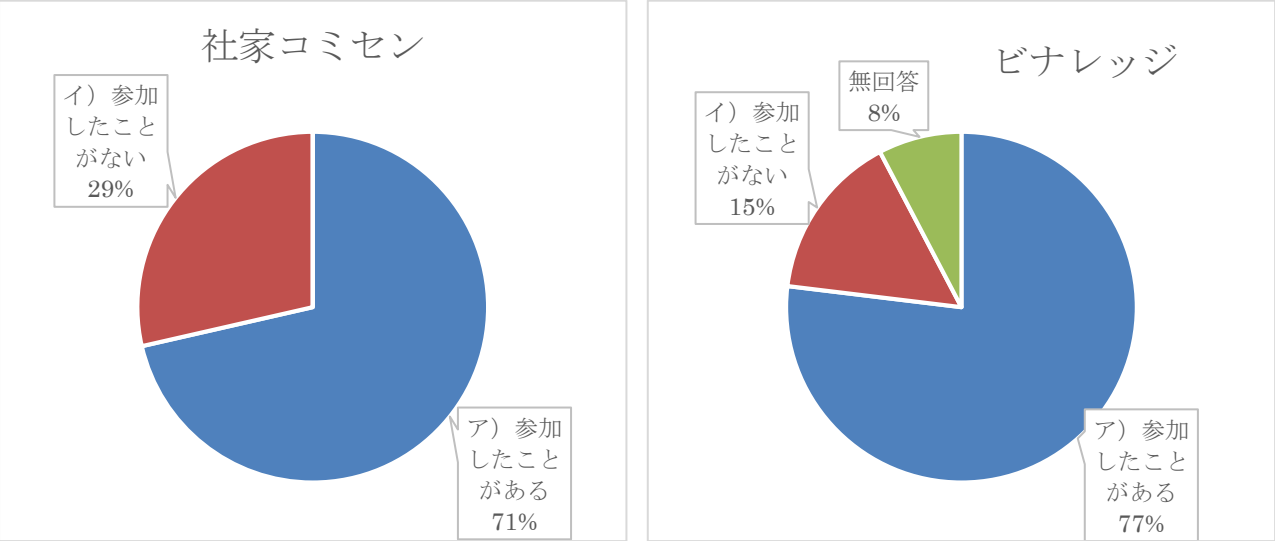
○今後の参加について

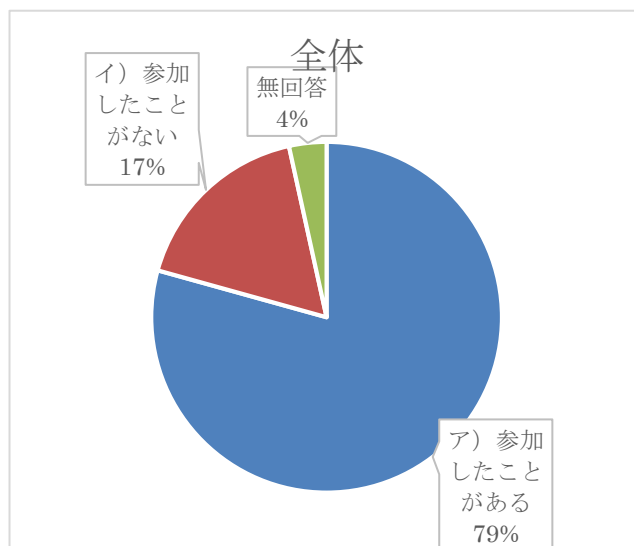
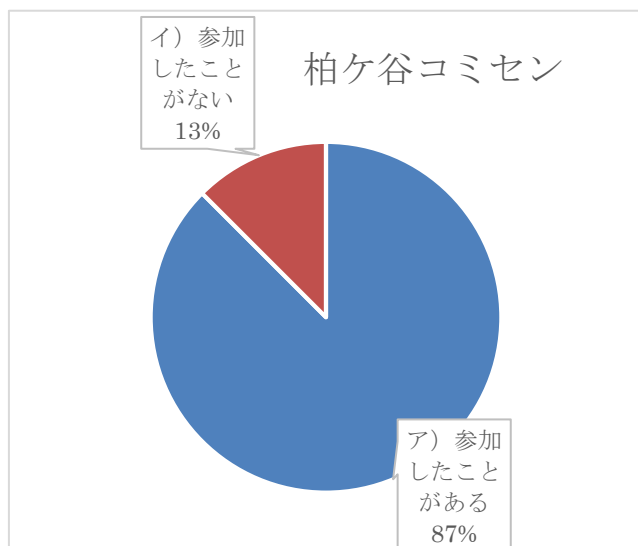


○家庭系ごみ一部有料化及び戸別収集の制度内容について



○市内で開催された説明会への参加について





○今後のごみ行政（レジ袋、プラスチックごみ問題・食品ロス等）についての意見

- ・三市が今後同時に有料化する努力を進めてほしい。
- ・レジ袋を含め過剰包装は必要ないと思う。マイレジ袋を用意すればよいと思う。
- ・海老名市だけ、なぜ早急に実施する理由が理解できない。もっと時間を掛け実施していただきたい。
- ・予定、計画通りに進むことを祈る。
- ・有料化の前にすべきことをしてから、実施してもおそくない。
- ・SDGs への取り組みを強化すべきだと思います。

○今後の議会報告会のあり方や議会についての意見

- ・参加者少ない、原因考えるべき。
- ・今後とも報告会を開いてほしい。
- ・テーマをしぼった報告会を開くことができないのか。例えば委員会ごとや市で課題、問題になっていることについてなど。
- ・事前にわかりやすい資料が欲しい。
- ・各自治体に協力を求めて開催するなど。
- ・開催期日の検討、見直しを要望する。

○議会報告会に取り上げてほしいテーマ、報告内容について。

- ・議会基本条例を完成に近づける。日程の目途はどうか。
- ・高齢者の公共機関（バス等）の補助。
- ・人員確保について（介護、保育、消防など）
- ・行政視察の結果の中で行政が活用出来た場合の報告を望む。
- ・地域の問題を取り上げていく
- ・海老名の産業と雇用状況及び今後の方向や教育関係など。

【委員会での検証結果】

- ・ 議会報告会は議会改革の取り組みとして進めてきたが、今回の参加者集計の結果を見ると参加人数は少ない。この結果も1つの記録として残していくべきである。
- ・ 議会について市民の方々へ伝えることができる有効な手段は、議会だよりであり、市民の方々が読んでいるという声を耳にする。誌面を拡大することで、議員がどんな質問をして、どんな回答を得られたのかを伝えることができる。今後さらに研究していく必要がある。
- ・ 議会報告会は全国的に行われており、参加者が少ないことについては他市でも課題となっている。これまでの結果を分析し、市民の方々の議会への関心度をもっと知るべきである。
- ・ 議会報告会は市民と議員の双方向が声を聞き対話をする貴重な機会であるので、報告会の内容など検討する。
- ・ アンケート結果から、高齢の方々の参加率が高く、自治会回覧などの紙媒体を見て、開催を知った参加者が多かった。今後は若い方の参加者をどのように増やしていくかが課題である。
- ・ 参加者が少なかった点については、開催地、時間帯を再度検討する。新たな取り組みとして、年明けなど早い時期に開催することも1つの案とする。
- ・ テーマについては、市民の生活に直結するようなことを題材とすることが1つの方法である。これまで、広報委員会では議員が分担して自治会へ自治会回覧の依頼、保育園へのチラシの配架、ビラ配りを行った。今後も新しい取り組みを検討することを議員同士、認識した。



(柏ヶ谷コミセンの様子)

【総括】

今回で議会報告会の5回目の開催となりました。

今年は参議院議員選挙や本市の市議会議員選挙などが予定されていたことから、議会報告会の開催日時を決定するにあたり、議員同士で検討を重ね、決定に時間を要しました。

また、開催の周知方法としては、ホームページ、フェイスブックのインターネット媒体だけでなく、昨年度と同様にタウン誌などへの掲載と併せて自治会に協力をいただき、自治会回覧を通して開催チラシを回覧させていただきました。特に自治会回覧を見て議会報告会の開催を知った参加者が多く、紙媒体における周知効果の高さを実感いたしました。

しかしながら、報告会への参加者が少数という課題を大きく払拭するまでには至らず、次回以降も有効な広報手段、周知方法などを検討しなければならないと考えております。

報告会は市内3会場で開催。内容としては、これまで同様に2部制とさせていただきました。1部では3常任委員会委員長による予算の概要説明、所管事務調査や議会改革において、これまで取り組んできた内容を報告させていただきました。特に議会改革についてはこれまで取り組んできた内容の経過や議会基本条例の概要を伝えることができたと思います。2部では、テーマを設定せず参加された方々から様々な分野、項目における意見を伺うことを目的として意見交換を行う形式を行わせていただきました。意見の内容としては市議会についてや市の予算、福祉など多岐に渡りましたが、特に市民の方々が関心を持っていると感じた項目は家庭系ごみの有料化と戸別収集についてでした。過去の議会報告会でもテーマを定めずに参加者との意見交換を行わせていただきましたが、今回の報告会においてもテーマを定めないことで、その時々により市民の方々の課題としていること、疑問と感じていることなど知ること、聞くことができる、有効な手段であることを認識いたしました。

議会報告会は市民と議会が意見を交換する貴重な場であることから、市の課題、議会としての課題などを発信しつつ、市民が抱えている課題など吸い上げなければならないと考えています。この点については実際に出された意見、アンケート結果から一定の成果を得られましたが、報告会への参加人数が少ないなどの課題が改善する方向には大きく向いてはおりません。

このような点から、今回も含めて過去の開催の結果、取り組んできた内容、他市の事例などを研究し、広報委員会としての役割をより良くしていく検討が必要と考えます。

【出席議員一覧】

○ 7月27日（土） 13時～ 社家コミュニティセンター

倉橋 正美（議長）
志野 誠也（副議長）
市川 洋一（広報委員会委員長）
田中 ひろこ（広報委員会副委員長）
森下 賢人（総務常任委員会委員長）
久保田 英賢（文教社会常任委員会委員長、議会改革特別委員会委員長）
中込 淳之介（経済建設常任委員会委員長）
鶴指 眞澄
市川 敏彦
福地 茂
氏家 康太
相原 志穂 計12名

○ 7月27日（土） 18時～ えびな市民活動センタービナレッジ

倉橋 正美（議長）
志野 誠也（副議長）
市川 洋一（広報委員会委員長）
田中 ひろこ（広報委員会副委員長）
森下 賢人（総務常任委員会委員長）
久保田 英賢（文教社会常任委員会委員長、議会改革特別委員会委員長）
中込 淳之介（経済建設常任委員会委員長）
藤澤 菊枝
松本 正幸
山口 良樹
日吉 弘子
吉田 みな子 計12名

○ 7月28日（日） 13時～ 柏ヶ谷コミュニティセンター

倉橋 正美（議長）
志野 誠也（副議長）
市川 洋一（広報委員会委員長）
田中 ひろこ（広報委員会副委員長）
森下 賢人（総務常任委員会委員長）
久保田 英賢（文教社会常任委員会委員長、議会改革特別委員会委員長）
中込 淳之介（経済建設常任委員会委員長）
西田 ひろみ
戸澤 幸雄
佐々木 弘
宇田川 希 計11名